

## 音楽留学 ～エッセイ・伝記の中から～

田村 和子

- ➡ 当館所蔵資料のうち最近出版された図書から、留学経験に触れているものを抜き出してみました。留学について書かれた部分が少ないものは除外しました。
- ➡ バレエ・舞踊に関する図書は誌面の都合上除外しました。
- ➡ クラシック音楽の各分野は1945年以降の、海外の高等教育機関への留学を対象にしました。それ以外の分野では、専門学校や個人レッスンのものも含めました。
- ➡ 留学の年代と教育機関の名称は記載された形のままとしました。留学が終了した年が文中に書かれていない場合は空白としました。
- ➡ 専門とする楽器等の別に掲載しました。項目ごとに留学した国の名称の五十音順、同一国の場合は留学した年代の古い順に並べました。
- ➡ 著作者が留学した本人ではない場合は、末尾に著者名を付記しました。
- ➡ J、およびCで始まる番号は、当館の請求記号です。

## ピアノ

中村菊子『ピアノ、幸福いっぱいの日々』全音楽譜出版社 J107-741

1959-65年 アメリカ合衆国 ジュリアード音楽院のデュプロマ課程、修士課程

宮沢明子『ピアニストの休日』改訂版 ショパン J98-055

1961年- アメリカ合衆国 エール大学音楽部、ジュリアード音楽院

熊本マリ『ラ・ピアニスタ：太陽の門から』ショパン J103-071

1982-86年 アメリカ合衆国 ジュリアード音楽院、イギリス 英国王立音楽院

\*少し古い出版になりますが、熊本マリ著『薔薇よ、語って』東京音楽社C53-203にも詳しい記述があります。

片岡ユミコ『モーツァルトの声を聞いた夜：Age30、ツェルニー 30番、アメリカ音大の歩き方』三樹書房 J102-357

1996-98年 アメリカ合衆国 ニューヨーク大学フレドニア校

三輪 郁『やっぱりピアノが好き！』土曜美術社出版販売 J102-770

1980-90年代 オーストリア ウィーン国立音楽大学、同大学院

梯 剛之『いつも僕のなかは光』角川書店 J106-565

1991年- オーストリア ウィーン国立音楽大学

小菅 優『情熱のカデンツァ』日本放送出版協会 J106-107

1999?-2004年 オーストリア モーツァルテウム音楽院

フジ子・ヘミング『フジ子・ヘミング真実の奇跡：ドラマでは描かれなかった物語』角川書店 J101-944 [喜多麗子著]

1960年頃 ドイツ (旧ドイツ連邦共和国) 国立ベルリン音楽大学 (現：国立ベルリン芸術大学)

上法 奏『私のしごとはピアノ弾き：ドイツからのメッセージ』芙蓉書房出版 J110-934

2000-04年 ドイツ ケルン音楽大学

中井正子『パリの香り、夢みるピアノ：パリ音楽院と原智恵子に学んで』ショパン J98-418

1970年代 フランス パリ国立高等音楽院

新田美保『パリを弾く：日本人ピアニストのフランス生活事情』草風館 J99-379

1988-91年 フランス エコール・ノルマル音楽院、スコラカントルム音楽院

## オーボエ

宮本文昭『オーボエとの「時間」』時事通信社 J111-130

1968-72年 ドイツ (旧ドイツ連邦共和国) デットモルト音楽アカデミー

茂木大輔『オケマン大都市交響誌：オーボエ吹きの見聞録』(中公文庫) J110-071

1981-85年 ドイツ (旧ドイツ連邦共和国) ミュンヘン国立音楽大学大学院

## ヴァイオリン

川島成道『成道のアヴェ・マリア：ヴァイオリンの師として、父として』講談社 J97-912 [川島正雄著]

1994-97年 イギリス ロンドン・ロイヤル・アカデミー

黒沼ユリ子『ヴァイオリン・愛はひるまない：ブラハからメキシコへ』海竜社 J94-099

1958-62年 チェコスロヴァキア ブラハ音楽芸術アカデミー

## ヴィオラ

今井信子『今井信子 憧れ：ヴィオラとともに』春秋社 1965-67年 アメリカ合衆国 イェール大学音楽部、ジュリアード音楽院

## チェロ

堤 剛『チェロを生きる』新潮社 J95-740  
1961-65年 アメリカ合衆国 インディアナ大学ブ  
ルーミントン校

## 打楽器

菊池清見『オーケストラ 叩けば楽し：母と娘のフロ  
リダ日記』鶴書院 J98-371 [菊池光代著]  
1992-95年 アメリカ合衆国 フロリダ州立大学、  
1995-97年 ザ・ジュリアード・スクール大学院

大塚敬子『ウィーンに生きて：ある打楽器奏者の音楽  
日誌』音楽之友社 J96-029  
1963-67年 オーストリア ウィーン音楽アカデ  
ミー（現音楽大学）作曲科と打楽器科

## 声楽

大岩道也『オペラ留学奮戦記』イタリアオペラ小劇場  
J105-463  
1972-75年 イタリア ミラノ国立G. ベルディ  
音楽院

## 指揮

大植英次『指揮者 大植英次：パイロイト、ミネソタ、  
ハノーファー、大阪、四つの奇跡』アルファベータ  
J108-627 [山田真一著]  
1978-81年 アメリカ合衆国 ニューイングランド  
音楽院、大学院

印牧和生『炎の第九：「ただいま！」ベートーヴェン  
を連れて帰って来ました』名著出版 J94-025  
1976-84年 ドイツ（旧ドイツ連邦共和国）国立  
ハンブルグ大学音楽学専攻、国立ハンブルグ音楽  
大学指揮科

松尾葉子『指揮者にミュージックが微笑んだ』論創社  
J99-944  
1981-82年 フランス パリ・エコール・ノルマル  
音楽院

西本智実『指揮者・西本智実：日本とロシアと』ソフト  
バンク パブリッシング J96-896 [伊東雨音著]  
『西本智実：私の中のロシア：指揮者』せきれい社  
J103-884 [伊東雨音編著]  
1996-98年 ロシア 国立バテルブルグ音楽院オ  
ペラ・シンフォニー指揮科

## クラシック音楽以外（アジア）

伊藤公朗、伊藤美郷『ヒマラヤ音巡礼：シタールに  
魅せられて』鳥影社 J95-405  
1977年 インド ウッタルプラデーシュ州（現  
ウッタルカンド州）パドリナートで個人教授を受け  
る。

井上貴子『ビートルズと旅するインド、芸能と神祕の  
世界』柘植書房新社 J112-002  
1980年代 インド デリー大学・音楽学部カル  
ナータカ音楽（声楽）専攻修士課程

斎藤 完『飲めや歌えや、イスタンブール：トルコの  
酒場で音楽修行』音楽之友社 J96-095  
1997-99年 トルコ イスタンブール工科大学付設  
国立トルコ音楽院

## クラシック音楽以外（ジャズ）

穂吉（秋吉）敏子『孤軍：秋吉敏子その人生と作品』  
全音楽譜出版社 J103-047 [全音楽譜出版社出  
版部編]  
1956-59年 アメリカ合衆国 バークリー音楽院  
\*少し古い出版になりますが、穂吉敏子著『ジャズ  
と生きる』（岩波新書）C61-260にも詳しい記述  
があります。

小川隆夫『となりのウイントン』日本放送出版協会  
J109-965  
1981-83年 アメリカ合衆国 ニューヨーク大学大  
学院リハビリテーション科に在籍しながらジャズ修  
行。

上原ひろみ『上原ひろみ サマーレインの彼方』幻冬  
舎 J106-417 [神舘和典著]  
1999-2003年 アメリカ合衆国 バークリー音楽  
院・作編曲科

## クラシック音楽以外（サルサ）

奥村恵子『ビバ・ラ・ムジカ』マガジン・ファイブ  
J107-878  
1983-86年 アメリカ合衆国 イーストハーレム・  
ミュージックスクール（専門学校）でコンガ（打  
楽器）を学ぶ。

## 留学に関するガイドブック等

最近刊行された留学に関するガイドブック、および海外  
の音楽教育機関についての調査報告書もリストアップし  
ました。  
過去のものも含めより多く探したい場合は、OPACで検  
索して下さい。分類番号（一般的な図書は“分類番号”  
377.6、音楽に限定した図書は“ローカル分類”X-838）  
で検索できます。

### 留学全般

『はじめての留学スーパーガイド、2006-07』（アルク  
地球人ムック、留学事典シリーズ）J106-541  
栄 陽子 [著] 『アメリカ留学まるごとガイド：留学  
生必携!』三修社 J100-311  
ICC国際交流委員会編『大学生のための1年間留学：留  
学してみたい!』新訂版 三修社 J93-551

### 音楽留学

『外国における音楽専門教育の調査』委員会編『外国に  
おける音楽専門教育の調査・高等音楽教育機関にお  
ける専門教育体制および内容の国際比較（調査・研  
究）報告書』国立音楽大学 J110-792  
栄 陽子著『音楽留学 in USA』改訂版 三修社  
J106-562  
上田浩司著『アメリカの音楽系大学留学ガイド』三修  
社 J97-249